

1学期終業式 7月31日

今日で1学期も終わりです。皆さんはこの1学期、本当によく勉強をしました。また、友達と協力して仲良く過ごせました。そして、ルールを守って生活したので、みんな健康に過ごすことができました。立派に過ごした1学期でした。

また、スクールバンドの4・5・6年生は6月末から練習を始めて、今週の水曜日と木曜日にパート毎にインサンプル発表会を行いました。パートリーダーや6年生中心に朝練習や放課後練習に取り組み、素晴らしい演奏を披露しました。よく頑張りましたね。

今日は、アフリカのケニアに住んでいるジャクソンさんという11才の男の子を紹介します。ジャクソンさんは毎日5時半に妹さんと家を出て、草原を駆け抜けて15km離れた学校に通っています。これは学校へ行く途中です。向こうの方にキリンの群れが見えま



す。途中、象の群れに出会うと襲われる危険があるので、丘の上から観察して、象の群れがいない



道を探しています。そして道を見付けると草原の中を歩いて行きます。道なき道を片道2時間歩いて、毎日学校に通っています。ジャクソンさんは、命の危険を冒して、なぜ毎日学校に通うのでしょうか。ジャクソンさんは言っています。「ちゃんとした教育を

受けたい。そして一生懸命勉強して、家族の力になり、自分の夢を叶えたい」ジャクソンさんの夢はパイロットになることです。「パイロットになってこの国から飛び出し、空の上からあらゆる物を眺めるんだ。」と言っています。学校はジャクソンさんにとって夢を叶える場所なのです。

さて、皆さんは4月・5月と学校に通えない毎日が続きました。そして、6月にやっと学校が始まりました。家ではできないけれど、学校に来ればできることってどんなことがありましたか。まず、友達に会えます。友達に会えればおしゃべりしたり、遊んだり、助け合ったり、一緒に考えた

り…皆さんにやってもらったアンケートで、学校がお休みの時、不安だったりつまんなかったりしたけど、友達に会えるようになったからもう大丈夫です。と答えている人がいました。その通りですね。

それから、学校には先生がいます。勉強を教えてもらっていることが分かり、できるようになります。褒めたり励ましたり、時には叱っていただきます。学校には友達や先生、そして皆さんを支えてくださるたくさんの方がいて、皆さんは多くのことを事を学ぶことができます。学校で学ぶことが、皆さんの夢を叶える事につながって欲しいと思っています。

明日から夏休みになります。夏休みも元気に過ごして、また 2 学期一緒に学校で学びましょう。皆さんに会うのを楽しみにしています。